

博多港における ECO への取り組みと九州大学共同研究への貢献 ～ 福岡県環境保全功労者知事表彰を受賞 ～

当社は、博多港コンテナターミナルにおいて、2010 年に荷役機械である RTG の電動化とストラドルキャリアのハイブリッド化並びにリーファー（冷凍コンテナ）設備の省電力化など先進的な開発技術を国内で初めて導入し、CO2 排出量抑制、エネルギーコストの削減の取り組みを行ってまいりました。この結果、電動 RTG では年間 2,100 トン以上、ハイブリッドストラドルキャリアでは年間 250 トン以上の CO2 排出量を抑制し、リーファー設備では夏季日照時間帯で約 10%の電力消費量削減を実現しました。

あわせて、これらの荷役機械等を活用した環境負荷軽減の効果をさらに高めていくため、九州大学に設置された海域港湾環境防災共同研究部門（研究代表者：九州大学大学院工学研究院 平澤充成教授）において進められている「港湾空間における温室効果ガス削減技術及び節電技術の開発」に関する貢献が認められ、この度、福岡県環境保全功労者知事表彰を受賞しました。

受賞に当たり、この取り組みに多大なご指導ご協力をいただいております九州大学、国土交通省九州地方整備局、福岡市港湾空港局、三井造船(株)、ユニキャリア(株)、一般社団法人港湾荷役機械システム協会など関係の皆様方に厚く御礼申し上げます。

今後も世界最高水準の高機能 ECO コンテナターミナルを目指し、環境負荷低減、CO2 排出量削減の取り組みを推進していきます。



表彰状を授与される阪下代表取締役社長
(6/30 福岡県吉塚合同庁舎にて)



アイランドシティコンテナターミナルの電動 RTG



香椎パークポートコンテナターミナルの
ハイブリッドストラドルキャリア



アイランドシティコンテナターミナルの
省電力リーファー設備

【参考】福岡県環境保全功労者知事表彰

平成3年から設置され、環境保全のための活動を自主的、積極的に推進し、その成果が特に顕著な、以下の基準に該当する個人、団体を対象とする表彰制度です。

<表彰基準（団体の場合）>

- 環境保全活動を自主的、積極的に推進し、その活動が他の模範となり推奨できるものであること。
- 現在の環境保全活動とその成果が将来とも継続されることが確実なものであること。
- 表彰しようとする年度の4月1日現在までに、環境保全活動の開始から5年以上経過しているものであること。
- 環境保全活動の推進において特に創意工夫が見られるものであること。